

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 蛋白尿先行型妊娠高血圧腎症の臨床像

[研究機関] 北海道大学病院産科

[研究責任者] 赤石 理奈 （産科・助教）

[研究の目的]

妊娠高血圧腎症(PE)は妊娠の2～3%に認められ、胎児・胎盤機能不全、子宮内胎児死亡、発育遅延、早産、常位胎盤早期剥離、HELLP 症候群、子癇、播種性血管内凝固症候群、急性腎不全等、母児の予後を危うくする重篤な合併症を併発しやすいといわれています。PE では血管内皮機能不全による血管透過性亢進や原因不明の機序により循環血漿量減少や凝固系の異常を引き起こし、血流低下による腎機能悪化や胎盤機能不全、血小板やアンチトロンビンの過消費をおこしていると考えられます。また、PE には高血圧が先行する例、蛋白尿が先行する例、同時期に両者を発症する例があります。高血圧のみ、または蛋白尿のみである期間は平均2～3週間で、PE の診断基準を満たしてから分娩までの期間は平均2週間前後と報告されています。高血圧を認めた妊婦の15～25%がPEへ進展しますが、蛋白尿を認めた妊婦は高血圧を認めた場合よりもPEへと進展しやすいことが示唆されています。PEにおける高血圧と蛋白尿の出現時期の時間的關係について明らかにし、血小板数やアンチトロンビン活性、体重の推移との関連について解析することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる方

2008年1月～2013年8月に北海道大学病院にて分娩した妊娠高血圧腎症28例

●利用する情報

診断名、診療経過、血液・尿検査結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報には、患者さんを直接同定できる個人情報は含まれていません。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院産科 担当医師 赤石 理奈

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711